

# 患者の皆様へ

2024年8月23日

薬剤部

現在、薬剤部では、発症までの期間を考慮したバンコマイシンによる腎障害予測モデルの構築に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2019年から2023年にバンコマイシンを投与した患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2019年1月から2023年10月の間にバンコマイシンを投与された方

### 1. 研究課題名

「発症までの期間を考慮したバンコマイシンによる腎障害予測モデルの構築に関する研究」

### 2. 研究期間

2024年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

### 3. 研究の目的・方法

目的：発症までの期間を考慮した腎障害予測モデルを構築することで、適切なタイミングでの薬剤変更や血中濃度測定のプロポーザルによる腎障害予防につながります。

方法：2019年1月～2023年10月の間当院入院中にバンコマイシンを投与した患者さんの情報から、バンコマイシンによる腎障害を予測するモデルを構築します。本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究IDに置き換え解析がおこなわれます。

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテより年齢、性別、身長、体重、既往歴、併用薬、生化学検査、血液学的検査等の臨床検査結果、バンコマイシンの投与量、バンコマイシンの血中濃度を抽出して解析を行います。

## 5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：薬剤部 部長・教授 石井 伊都子

## 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院薬剤部において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

## 7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

薬剤部 主任 内田雅士

043（222）7171 内線5596